

ボーリング柱状図

調査名 平成 年度 川水系 郡 町 地先
 事業・工事名 ダム基礎岩盤調査

ボーリングNo. []

ボーリング名 B-2 調査位置 0000 郡 0000 町 0000 地先 35°09'46" 緯 138°09'49" 東経

発注機関 独立行政法人水資源機構 0000 ダム建設所 調査期間 平成 年10月1日～平成 年12月1日

調査業者名 (電話) 主任技師 現場代理人 コ 定 著 ア 者

ボーリングポンプ責任者

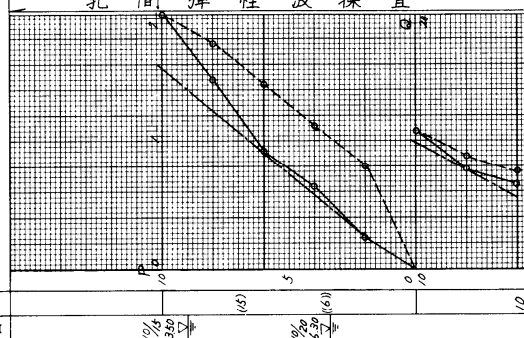
ボーリングポンプ

ボーリング深 420.00 m 地盤勾配 北 30° 東 90° 西 180° 南 180°

ボーリング孔口標高 120.00 m 角 180° 下 0° 上 180° 度

ボーリング孔口総掘進長 120.00 m

標高 (m)	柱状	岩種区分	色調	硬度	割れ目の形状	風変	記 事	岩 級 区 分	コア採取率 -X-(%) 最大コア長 cm RQD (%)	孔内水位 (m) / 測定月日	孔内圧力 (MPa) / 測定月日	試験 ()	室内位置試験 ()	掘進状況
420.00	△	礫層	黄褐色	E	d	E	風化した粘板岩の1~2cm大の小礫を含む土砂、植物根混入。							
419.00	△	粘板岩	褐色	D	d	D	地層面沿いにすべり面が発達し、面に沿って褐色となり、風化、粘土を含まれ、土をばさむ。							
418.00	△	砂岩	褐色	B	b	B	粘板岩の粗礫を含む風化している。割れ目沿いに風化がみられる。岩片は硬い、スレッドを含み、すべり面の発達する粘板岩。							
417.00	△	砂岩	褐色	B	b	B	割れ目沿いに硬い、石英の細脈を含む。							
416.00	△	粘板岩	黒色	E	d	E	粘板岩の粗礫を含む粘土化帯で、泥が散在している。							
415.00	△	粘板岩	黒色	D	d	D	すべり面が発達する粘板岩。							
414.00	△	砂岩	褐色	D	d	D	角礫状の砂岩。							
413.00	△	粘板岩	黒色	B	b	B	ほぼ新鮮な粘板岩、地層面沿いにすべり面が発達するが、粘着している。石英の細脈を含む。							



岩盤用ボーリング柱状図例